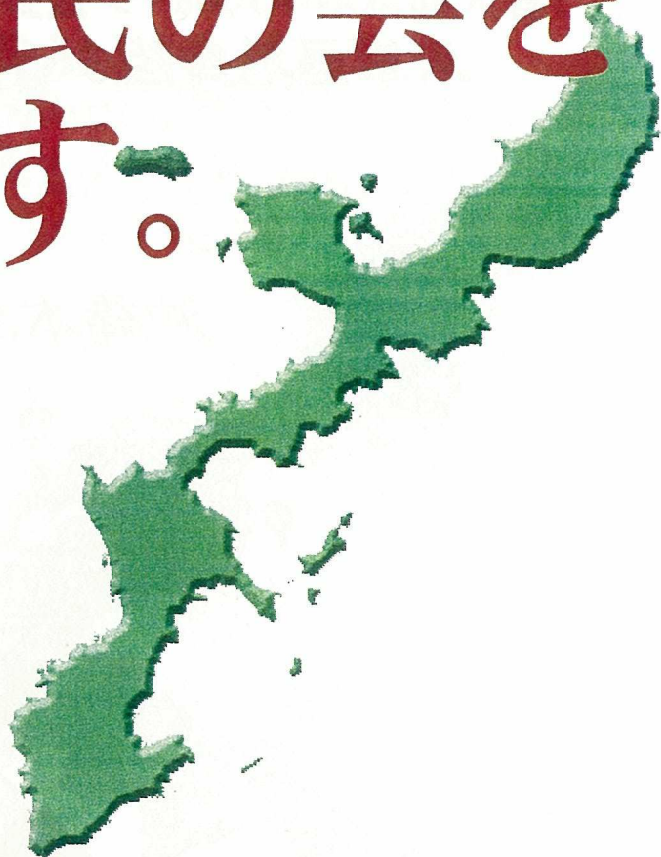


沖縄基地問題の早期解決に向け

私たちは、
新しい県民の会を
結成します。



私たちの願い。それは、
普天間基地の危険性の除去と
米軍基地負担の軽減、
です。

「普天間基地の危険性を除去し辺野古の米軍基地に統合縮小を
実現する沖縄県民の会」設立準備委員会

代表発起人 嶺井 政治(元副知事、元沖縄電力株式会社社長)

沖縄基地問題の現状は…。

- ① 本年1月、沖縄県下41自治体全ての首長、議会議長らは東京で集会し、安倍首相に、(1)オスプレイの配備撤回、(2)普天間基地の県外移設の「建白書」を直接提出しました。
- ② しかし、沖縄県の米軍基地問題の主導権は、日米同盟の破棄を主張する日本共産党系労組や革マル・中核など新左翼過激派の勢力によって握られています。
- ③ 日米間で合意された普天間基地の「県内移設」は、あくまで、米軍基地間における統合・縮小です。すなわち、普天間基地480ヘクタールが沖縄に返還され、飛行場は辺野古の米軍基地(キャンプシュワブ)の海埋立地160ヘクタールに統合・縮小されることを意味しています。
- ④ しかも日米合意によれば、普天間基地の返還と併せて、北部訓練場はじめ県内の米軍基地約5000ヘクタール(全沖縄基地の約4分の1)が返還され、基地負担は大きく軽減されることとなります。
- ⑤ 沖縄県民の真の願いは、「普天間基地の危険性の除去」と「基地負担の軽減」です。しかし、「基地反対」、「県外移設」を唱えている左派勢力の主張は実現性に乏しいため、反対のための反対、すなわち「基地問題の固定化」と「基地問題の運動利用化」をもたらし、基地問題は解決されません。

私たちのめざすもの

- ① 沖縄県民の真の願いである「基地の危険性の除去」「基地負担の軽減」を基本方針として、基地問題の現実的解決をはかる県民世論を盛り上げます。
- ② 東アジアの軍事情勢の緊迫化に伴い、日米同盟の強化こそが東アジアの現実的な安全保障となり、同時に尖閣・沖縄の防衛にとって必須の条件であることを県民に啓発します。
- ③ 左派や過激派などに握られてきた基地問題解決への主導権を、県民意思を代弁する良識派の団体に取り戻し、基地問題を現実的にかつ速やかに解決します。

◎基地問題解決への道筋=その1

普天間基地の危険性を除去し、 辺野古の米軍基地への統合・縮小を

普天間基地480ha → 辺野古の米軍基地160ha の海埋立
米軍基地負担が**3分の1**に縮小されます



◎基地問題解決への道筋＝その2

北部訓練場から普天間基地まで 約5000haが沖縄へ返還される

沖縄の全米軍基地の4分の1が大幅に削減されます

返還される
米軍基地

北部訓練場
…約4000ha
(平成8年日米合意済み)

キャンプ桑江
…約70ha

辺野古の米軍基地
(キャンプシュワブ)

嘉手納基地

キャンプ瑞慶覧
…約157ha

普天間基地
…約480ha

牧港補給地区
…約270ha

那覇港湾施設
…約60ha

嘉手納基地以南の返還5基地・施設

